

## 仕様変更などで見積書の変更箇所を確認したいとき 増減見積の原価側出力に対応しました。

＜フォームを復帰する＞  
[データベース保守]－[マスターの復帰]でCDの中の「増減用フォーム」フォルダを指定して復帰してご利用ください。

自社用などを作成している場合にコードが重複している場合は担当インストまたは営業所へご相談ください  
コード145:A3横 提出・原価(増減見積)  
コード147:A4横 原価(増減見積)

## Excel2007以降に対応

見積書、実行予算書のExcel出力で「xlsx」「xlsm」のフォームも利用可能になりました

■マーク一覧  
Excel拡張子の種類により表示されるマークが違います。

	拡張子「xls」ファイル
	拡張子「xlsx」ファイル
	拡張子「xlsm」ファイル
	拡張子「xlsx」と「xls」ファイル混在
	拡張子「xlsm」と「xlsx」や「xls」ファイル混在

現在の「xls」ファイルのままご利用いただけます

同一フォーム番号で拡張子違いのフォームが混在している場合、優先順位の高い拡張子のフォームを利用します。  
優先順位：「xlsm」→「xlsx」→「xls」

※[データベース保守]－[マスターの保存]では、優先順位の高い拡張子のフォームのみが保存対象になります。

＜現在の「xls」フォームを「xlsx」フォームに変更する＞  
マスターフォルダのSepfmxxx.xlsを開き、Excel機能の「名前を付けて保存」を選択し、ファイルの種類を「Excelブック(\*xlsx)」を選択して保存を実行します

バージョンアップ内容や保守契約等につきましては、最寄りの営業所へお気軽にお問い合わせください。

拝啓 ユーザーの皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、「ef / Bitz / P's」をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。「ef / Bitz / P's」の NewVersionがリリースされましたのでお届けしました。皆様のますますのご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。

## 間違えて削除してしまった！ ときのための対策 プラネスト用のごみ箱フォルダを準備しました

[環境設定]の物件フォルダ下の「ごみ箱フォルダを利用」にチェックを入れます。フォルダは固定になります  
一覧表から削除をおこなった場合、このRecycleフォルダに移動します  
※保存ドライブで管理している物件は対象外です

＜作業フォルダへ戻す＞  
[物件管理]－[ファイル]  
－[ごみ箱フォルダの管理]を開きます  
物件にチェックを入れて[元戻す]ボタンを実行します

＜ごみ箱フォルダを整理する＞  
[整理]ボタンで変更できます。  
初期値を必ずご確認ください

## 見積明細に社内メモや提出先への根拠などを書きたいとき

備考をもう1つ追加して提出先用、社内用など2つのメモを可能にしました

列の表示(C)...  
列の状態を保存する(S)

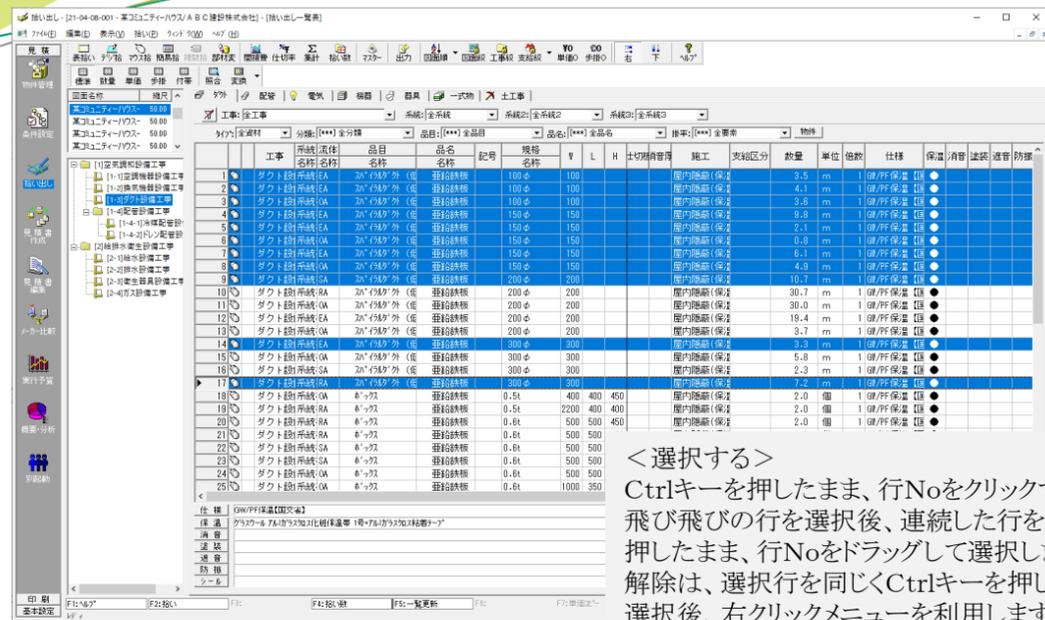
表示項目(C)  
 シンボル  
 項  
 名称1  
 名称2  
 支給区分  
 単位  
 提出数量  
 提出単価  
 提出金額  
 提出工数1  
 歩掛A歩掛1  
 備考  
 備考2  
 基準数量  
 基準採用ノカ  
 基準単価

＜備考2を表示する＞

[表示]－[列の表示]を開き、「備考2」にチェックを入れて[OK]を実行します  
次に設定を保存するため、[表示]－[列の状態を保存する]を選択します  
※印刷するにはフォームへの設定が必要です

### 拾い出しの変更をさらに便利に

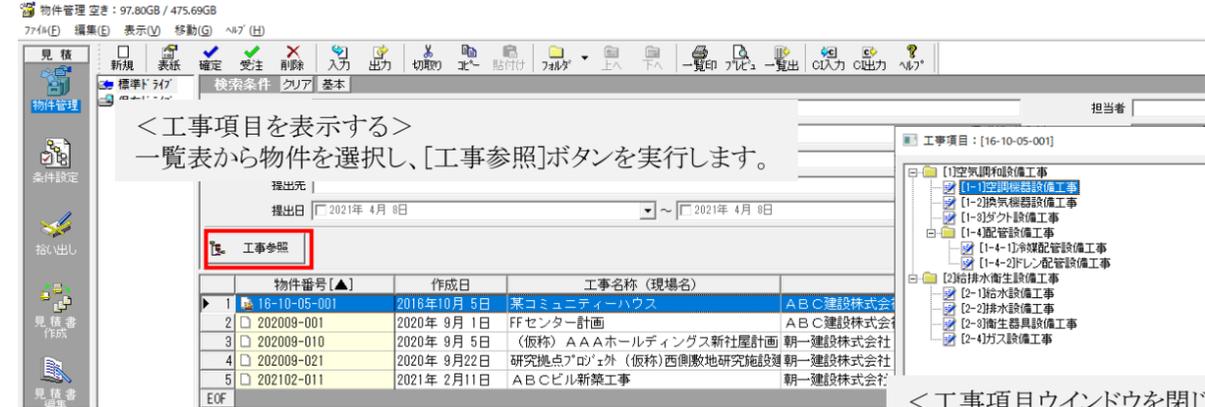
拾い一覧表から変更対象を飛び飛びでも選択可能にしました



<選択する>  
Ctrlキーを押したまま、行Noをクリックすることで選択できます  
飛び飛びの行を選択後、連続した行を選択する場合もCtrlキーを  
押したまま、行Noをドラッグして選択します  
解除は、選択行を同じくCtrlキーを押したまま、行Noをクリックします  
選択後、右クリックメニューを利用します

### 類似の物件や工事編成を探すときに

物件管理で工事項目を確認できるようになりました

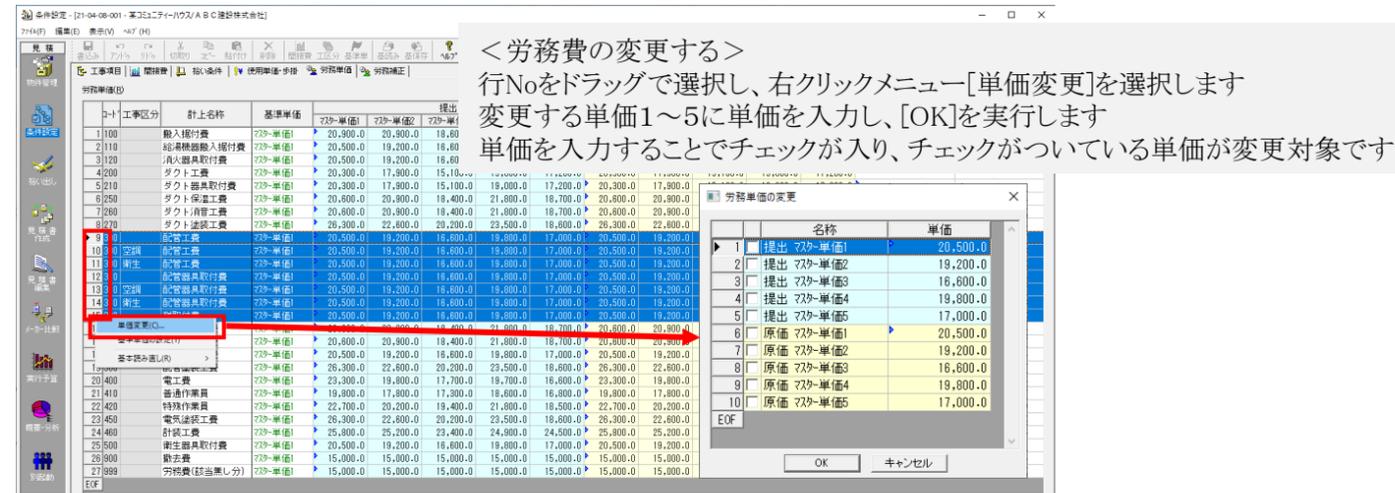


<工事項目を表示する>  
一覧表から物件を選択し、[工事参照]ボタンを実行します。

<工事項目ウインドウを閉じる>  
右上の[×]ボタンで閉じます

### 労務単価をまとめて変更したいとき

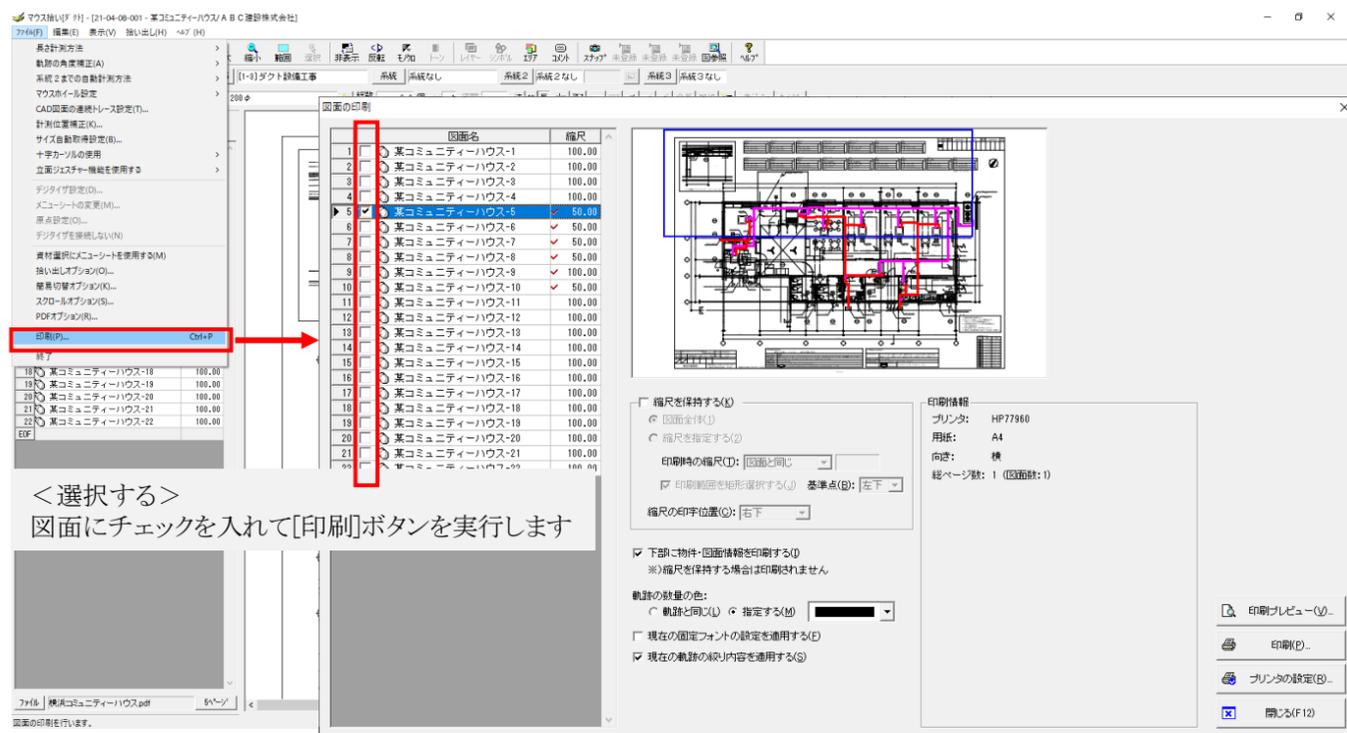
連続した労務費の単価をまとめて変更できるようになりました



<労務費の変更する>  
行Noをドラッグで選択し、右クリックメニュー[単価変更]を選択します  
変更する単価1~5に単価を入力し、[OK]を実行します  
単価を入力することでチェックが入り、チェックがついている単価が変更対象です

### 軌跡+図面印刷を効率化

軌跡+図面の印刷を1枚ずつから複数枚まとめての印刷ができるようになりました



<選択する>  
図面にチェックを入れて[印刷]ボタンを実行します

マウス拾いで「エリア指定」のコピーが利用できるようになりました

コピー先の図面にコピー元と同じ種別(ダクト・配管・電気)の拾いデータが存在しない場合には  
エリアをコピーできるようになりました。

### マウス拾いのエリアを有効活用する

メニューシートのサイズ変更で拾い画面を有効利用  
できます

<拡大/縮小する>  
右下の角にマウスのポインターを合わせ矢印を表示しドラッグでマウスを  
移動させます  
拡大縮小の縦横サイズは、作成しているメニューシートの縦横比を保持  
して拡大/縮小します  
サンプルマスターのメニューシートのサイズが最小です

